

僕の故郷ポカラ(ネパール)

ガウタム バラトラジュ

もしカトマンズがネパールの文化の中心だとしたら、ポカラは冒険の中心である。穏やかな自然に囲まれた静かな盆地にあるこの魅力的な町、ポカラはネパールのトレッキングのメッカであり、最近、川下りも盛んになってきた。フェワ(Phewa)湖の岸边には、ホテルやレストランがたくさんあって、トレッキングを楽しむ人たちがバーやレストランに集まって、おすすめのゲストハウスや、ヒマラヤのふもとで見てきた景色について、おしゃべりに花を咲かせている。ポカラは第一級の観光地なのだ。

ポカラはまた他にはないユニークな美しい自然に満ちた所でもある。穏やかなフェワ湖、その向こうにそびえる魚の尾びれの形をしたマチャプチャレ(Machhapuchhre)(6,977 m)。湖面に映るマチャプチャレの姿は、平和なまた



魔法にかけられたような気分を醸し出す。ポカラの標高はカトマンズより低いので、亜熱帯的な自然がある。従って、花々も見ることが出来る。確かに、周囲には、豊かな緑の森があり、澄んだ水がほとばしる川があり、エメラルド色に染まった湖があり、そしてもちろん、世界に誇れるヒマラヤの峰々が間近にそびえ立っているのだ。

アンナプルナ連峰 ポカラを訪れた誰もが間違いなく驚くのは、北側に広がるアンナプルナ連峰のパノラマであろう。目に入る限り、東から西まで広がるアンナプルナ連峰にはアンナプルナ第一峰から第四峰までとアンナプルナ・サウスの峰がある。その中で一番高いのはアンナプルナ 1 (8,091 m)であるけれど、最も目立つのは、マチャプチャレである。空中に浮かびあがるような魚の尾びれの形をしたピークは、おそらくこのような峰の原形ともいえるだろう。エヴェレスト航空では空からの眺望を楽しみたい人たちのために、西部ヒマラヤのマウンテン・フライトを運行している。おすすめである。



フェワ (Phewa) 湖 ネパールで二番目に大きいフェワ湖は、ポカラの観光の中心といってよい。ポカラを輝かせている三つの湖の中でやはりフェワ湖が一番魅力にあふれている。景色を楽しむだけでなく、ボートをこいだり、ヨットに乗ったり、また湖の中の小島にある寺院に行って楽しむことができる。東側の湖岸の周辺はレイク・サイドあるいは地元の言葉でバイダム

(Baidam) と呼ばれているが、観光客のメッカとなっていて、ホテルや、ゲストハウス、みやげ物店などがたくさんあり、観光客を集めている。

セティ・ガンダキ (Seti Gandaki) 川

ポカラにある自然の驚異の中で、セティ・ガンダキ川も見る者を驚かさずにはいない。ポカラの市街を縦断しているこの川は、固い岩盤を刻んで流れている。その流れの激しさもさる事ながら、一部は完全に地下に潜って流れている。また、ある所では幅が2メートルほどしかないが、その深さは20メートル以上にもなっている。マヘンドラ・プル市街にある橋からは、その荒々しい流れと、長年にわたって水が刻んだ鋭い谷を良く見ることができる。

僕の故郷ポカラ(ネパール)

もしカトマンズがネパ

ールの文化の中心だと

したら、ポカラは冒険

の中心である。穏やか

な自然に囲まれた静か



な盆地にあるこの魅力的な町、ポカラはネパールのトレッキングの

メッカであり、最近では、川下りも盛んになってきた。フェワ(Phewa)

湖の岸边には、ホテルやレストランがたくさんあって、トレッキン

グを楽しむ人たちがバーやレストランに集まって、おすすめのゲス

トハウスや、ヒマラヤのふもとで見てきた景色について、おしゃべ

りに花を咲かせている。ポカラは第一級の観光地なのだ。

ポカラはまた他にはないユニークな美しい自然に満ちた所でもある。

穏やかなフェワ湖、その向こうにそびえる魚の尾びれの形をしたマ

チャプチャレ(Machhapuchhre)(6,977 m)。湖面に映るマチャプチ

ャレの姿は、平和なまた魔法にかけられたような気分を醸し出す。

ポカラの標高はカトマンズより低いので、亜熱帯的な自然がある。

したが 従^{したが}って、花々^{はなばな}も見^する事^すができる。確^{たしか}かに、周^{しゅうい}囲^いには、豊^{ゆた}かな緑^{りよく}の森^{もり}があり、澄^すんだ水^{みづ}がほとばしる川^{がわ}があり、エメラルド色^{いろ}に染^そまった湖^{うみ}があり、そ^そしてもちろ^ろん、世界^{せかい}に誇^{ほこ}れるヒマラヤ^{ひまらや}の峰^{みね}々^々がま^まぢか^{ぢか}にそび^そえ立^たっている。

アンナプルナ^{れんぼう}連^{れん}峰^{ぼう} ポカラ^{おとず}を訪^まれた誰^{たれ}もが間^ま違^{ちが}いなく驚^{おど}くのは、北^{きた}側^{がわ}に広^{ひろ}がるアンナプルナ^{あんなぷるな}連^{れん}峰^{ぼう}のパノラマであらう。目^めに入^いる限^{かぎ}り、東^{ひがし}から西^{にし}まで広^{ひろ}がるアンナプルナ^{あんなぷるな}連^{れん}峰^{ぼう}にはアンナプルナ^{だいいちみね}第^{だい}一^{いち}峰^{みね}か^から第^{だい}四^{よん}峰^{みね}までとアンナプルナ^{あんなぷるな}・サウス^{さうす}の峰^{みね}がある。そ^その中^{なか}で一番^{いちばん}高^{たか}いのはアンナプルナ^{あんなぷるな} 1 (8,091 m) であるけれど、最^もも目^め立^たつのは、マ^まチャ^{ちや}ブ^ぶチャ^{ちや}レ^れである。空^{そら}中^{なか}に浮^うかびあ^あがるよ^ような魚^{いし}の尾^おびれ^りの形^{かたち}をしたピーク^{ピーく}は、おそ^おらくこ^このよ^ような峰^{みね}の原^{はら}形^{かたち}ともい^いえるだ^だらう。エ^えヴェ^ゑレス^{れす}ト^と航^{かう}空^{くう}では空^{そら}から^{から}の眺^{なが}望^{ぼう}^{ちょうぼう}を楽^{たの}しみた^{たい}い人^{ひと}た^たちのた^ために、西^{にし}



部^ぶヒマラヤ^{ひまらや}のマウ^{まう}ン^んテ^てン^ん・フ^ふライ^{らい}ト^とを運^{うん}行^{こう}して^{して}い^いる。お^おす^すす^すめ^めであ^ある。

フ^ふェ^ゑワ^わ (Phewa) 湖^{うみ} ネ^ねパ^ぱール^るで二^に番^{ばん}目^めに大^{だい}き^きいフ^ふェ^ゑワ^わ湖^{うみ}は、ポ^ぽカ^かラ

かんこう ちゅうしん ぽから かがや みつ みずうみ
の観光の中心といってよい。ポカラを輝かせている三つの湖
なか ふえ わえびす いちばんみりょく けしき
の中でやはりフェワ湖が一番魅力にあふれている。景色を楽しむ
だけでなく、ボートをこいだり、ヨットに乗ったり、また湖の中の
こじま じいん いってたのしむ ひがしがわ こがん しゅうへん
小島にある寺院に行き楽しむことができる。東側の湖岸の周辺
れいく さいど じもと ことば ばいだむ Baidam
はレイク・サイドあるいは地元の言葉でバイダム (Baidam) と呼ば
れているが、観光客のメッカとなっていて、ホテルや、ゲストハウ
ス、みやげ物店などがたくさんあり、観光客を集めている。

セティ・ガンダキ (Seti Gandaki) 川

ポカラにある自然の驚異きょういの中で、セティ・ガンダキ川も見る者を
驚かさずにはいない。ポカラの市街しがいを縦断じゅうだんしているこの川は、固いかたい
岩盤がんばんを刻きざんんで流れている。その流れの激はげしさもさる事ながら、一部
は完全に地下もぐつに潜ひそって流れている。また、ある所では幅が 2 メートル
ほどしかないが、その深さは 20 メートル以上にもなっている。マ
ヘンドラ・プル市街しがいにある橋からは、その荒々あらあらしい流れと、長年に
わたって水みずが刻きざんんだ鋭い谷だを良く見ることができる。